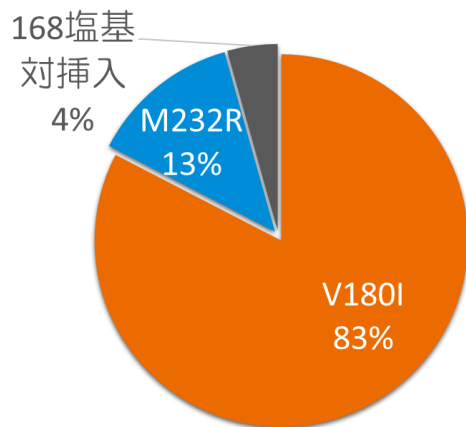
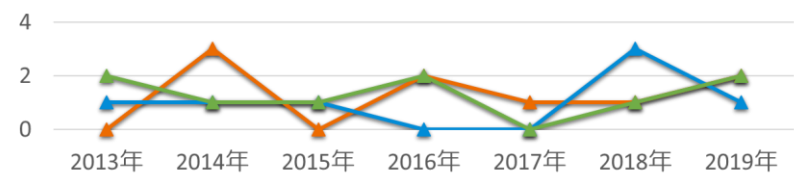
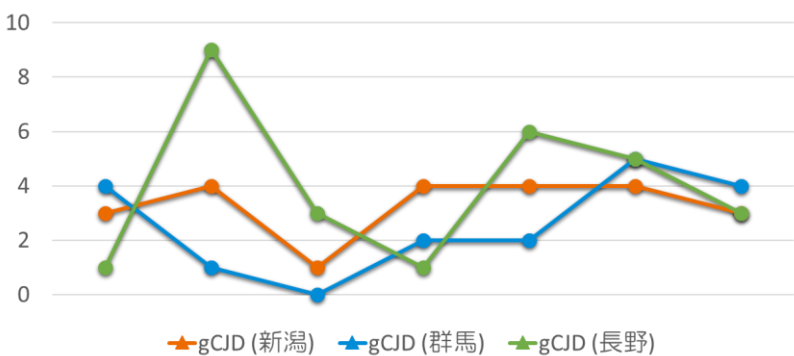
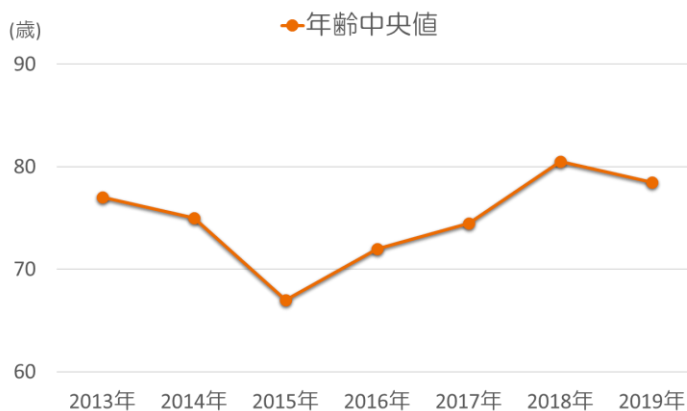
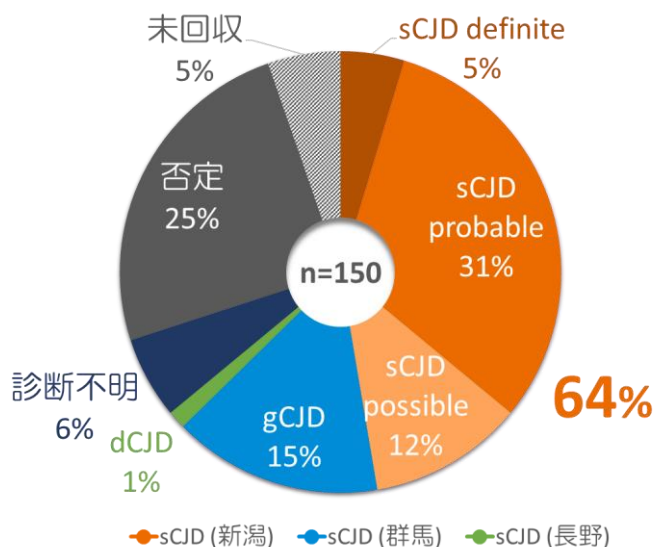


新潟・群馬・長野の3県における過去7年間のプリオン病の動向

研究分担者:新潟大学 小野寺理



解説

1. 新潟・群馬・長野において2013年以降の7年間で年間15～29件、合計150件のサーベイランスを行い、6割以上がプリオン病と診断された。
2. 3県において年平均孤発性CJD 10件、遺伝性CJD 3件が確認された。
3. 孤発性CJDの高齢化は明らかでなく、男女比は37:34であった
4. 遺伝性CJDの8割以上をV180I変異が占めた